



## 若い力で大きく明るい輪を！

同窓会々長 久保村 昭 衛



昨年は諸般の事情で、せっかくの同窓会のイベントも行なわれないうちに終わってしまいました。今年も平成の年にふさわしく、多くの同窓生の皆様方と手を取って、実のある活動ができる健闘の年にしたいものであります。

母校への近況報告は誠に少なく、残念に思っておりますが、皆様方はお元気でいらっしやるのでしょうか。ご自分のことはもちろん、友人のこと、街角で拾うこぼれ話も会

報にお寄せいただいたら、どんなにか楽しいものになることでしょう。皆様方の数々のサークル等もご紹介くだされば、また、新たな輪も広がることでしょう。

同窓生も七千二百名となり、第一回は既に還暦を迎えられており、非常に大きな輪となってまいりました。この度新しくご入会いただいた第四十回生のうち、十二名の方々にも同窓会代議員として、ご活躍を願うことになりました。若い力の導入でさらに大きく明るい輪となり、母校を中心にして色彩々に巡ってくださることでしょう。

今年も、一月に校長先生をはじめ多数の先生方、同窓会の役員を中心に、初めての新年名刺交換会を行ない、有意義な会をもたせていただきました。来年からは毎年一月中旬に予定してまいりたいと思っております。

同窓会々員の名簿は、既にお手元に届

けられ、これからは会報も配達されることとなりますが、三十九期までの一括名簿作成に当たっては、名簿担当委員長の新井英光氏と館野一弘氏を中心に、役員の皆様方が、実に二年間にわたって貴重な時間を同窓会のためにご奉仕くださいたいへんなお仕事を成し遂げていただきましたことを、同窓会の会員を代表して心から感謝し、お礼申し上げる次第でございます。

敗戦からついに世界一の経済大国へと破乱の昭和を経て、平和と福祉とレジャーに満ちた平成を迎えて、都立中野工業高校の歴史も古くなりました。

毎年、講堂がはちきれんばかりの同窓生を迎え、会報にも載せ切れないほどのご投稿が寄せられんことを希望してやみませ



母校正門

# 中工の誇り

## 活性化された同窓会

学校長 大久保 正利



中国では、昔から月日の立つことの早さを「光陰箭の如し」と言っています。時計の最も原始

的なものは日時計で、古代の人々が時を感じるのには日影の長さによってでした。そういった生活環境から生まれた言葉ですが、最近、月日の立つことの早さをその言葉通りに身にしみて感じております。それは私が現在、教職員の協力を得て、また同窓会の皆様の精神的援護を受けて、毎日楽しく過ごしているためではないでしょうか。

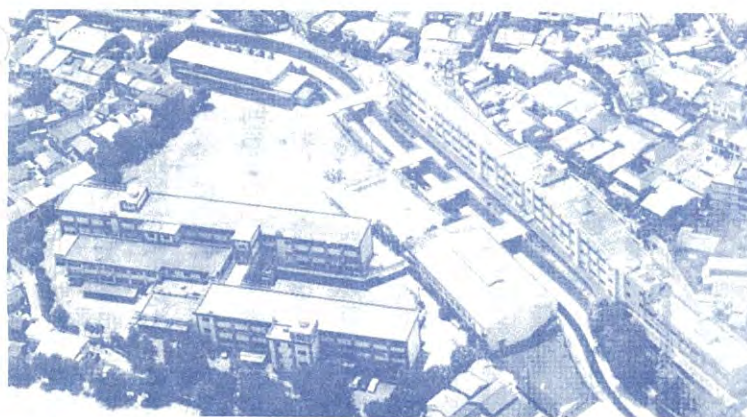
本校について誇れるものは多くありますが、その一つに活性化された同窓会があります。久保村昭衛会長を中心によくまとまり、いろいろと行事を行なってい

ることに敬意を表します。どこの学校でも「学校との関係は在学している三年間だけ。要するに腰掛さ」という態度をとる卒業生が多くなっているといわれています。中野工業高校に限ってはそのようなことはなく、多くの卒業生が本校を訪れてくれることに喜びを感じております。ところで、同窓会の皆様にとって中野工業高校はいつまでも我が母校ですし、いつまでも誇りうる学校であってほしいと願っていると思います。そこで、本校の現況をご報告申し上げます。

現代は情報化時代といわれ、その中心はマイクロエレクトロニクス(ME)です。本校ではこのことに着目し、コンピュータ教育を充実し、それを基礎として専門教育を行なっています。情報化時代の影の部分は、自閉的人間の増加といわれていますが、その対策としてクラブ

活動を活発にしたり、創意ある学校行事を多くするなどして、友達との交流を盛んにするよう努めています。また、生徒の情操教育と外部への宣伝を考えて校舎の改築も行なっています。

同窓会の皆様、私は本校の教育を誇りうるものと確信しておりますが、本校の今後の発展にご期待ください。



母校航空写真

# 年会費二、〇〇〇円

## の納入を!

同窓会事務局長 島田勝 利



昭和六十一年六月

一日の同窓会総会で  
選出された役員一同  
は、同窓生各位のご  
協力を得て、「代議

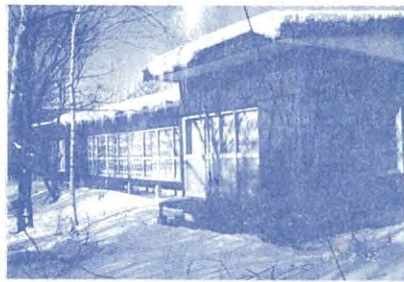
員制への移行」「年会費二〇〇〇円」

「清里寮の再開」等々の重要なテーマに取り組み、解決に向けて歩んでまいりました。

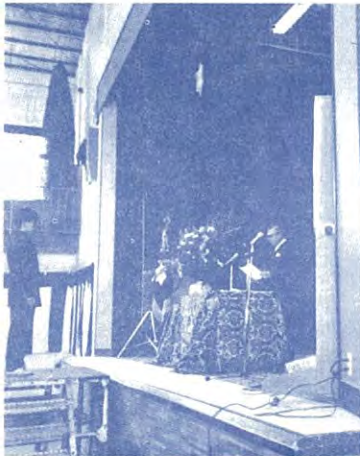
以来、早三年が過ぎました。清里寮については、建屋修繕、設備改修、管理人常駐等々の施策を行ない、昭和六十二年四月二十六日に「清里寮の再開」を実現し、今までに約九〇〇名の方々にご利用いただきました。

同窓会活動を活発に行なっていくためには、基盤となる資金が必要ですが、卒業時（同窓会入会時）の三〇〇〇円のみでは、年間六〇万円にしかありません。これでは、七千余名同窓生への通信費に

充当するだけで、他の活動ができないため、「年会費二〇〇〇円」の納入をお願いいたしました。多くの方の賛同をいただいておりますが、全体からみればまだ少数です。同窓生同士の連携、清里寮の維持、母校行事への支援等々、必要な費用への充当のため、同窓生各位におかれましては、同封の振込用紙にて「年会費二〇〇〇円」の納入をお願いいたします。



冬の清里寮



卒業式で記念品を贈呈される久保村会長

### 同窓会活動記録 (昭和63年～平成元年6月)

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 63・3・8   | 母校卒業式 会長出席、レホンカード贈呈     |
| 4・9      | 母校入学式 会長出席              |
| 4・22～23  | 開寮一周年記念祭<br>・役員会（清里寮）   |
| 5・1      | 会報発送作業Ⅰ                 |
| 5・8      | 役員会・会報発送作業Ⅱ             |
| 5・28～29  | 清里寮整備（ペンキ塗り他）           |
| 6・12     | PTAの清里寮見学会              |
| 7・9      | 役員会及び総務委員会、名簿委員会        |
| 9・11     | 役員会                     |
| 9・25     | 同窓会名簿発送作業               |
| 10・5     | 清里寮水道工事見積り立会い           |
| 10・9～10  | 清里寮屋根のペンキ塗り他整備          |
| 10・10～17 | 清里寮水道工事                 |
| 10・12    | 清里寮水道工事立ち会い             |
| 10・23    | 役員会                     |
| 11・2～3   | 母校文化祭に参加                |
| 11・26    | 忘年会（PTA・教職員会<br>同）      |
| 元・1・21   | 新年名刺交換会                 |
| 3・7      | 母校卒業式 会長出席、<br>レホンカード贈呈 |
| 3・26     | 役員会                     |
| 4・10     | 母校入学式 会長出席              |
| 4・15～16  | 開寮二周年記念祭<br>・役員会（清里寮）   |
| 6・4      | 代議員総会                   |

# 平成元年度代議員総会

## 開催される

平成元年度の代議員総会が、六月四日(日)、母校会議室において開催され、左記の事項が討議され承認されましたので、ここに報告します。

### 一、昭和六十三年事業報告

(三ページの活動記録参照)

### 一、昭和六十三年決算報告

一、昭和六十三年決算報告並びに承認

一、平成元年度役員選出並びに承認

一、平成元年度事業計画並びに承認

一、平成元年度予算審議並びに承認

一、清里寮運営委員会特別報告

(別紙参照)

一、その他

## 平成元年度事業計画

元年 4月10日・母校入学式 会長出席

4月15～16日・清里寮開寮祭(寮再開2周年記念)・役員会

5月・会報発行準備及び代議員総会準備

5月28～29日・PTA・OB会、平成会  
総会出席(於清里寮)

6月4日・代議員総会

7月・会報発行

8月・役員会

9月・清里寮宿泊行事(紅葉狩、ほとうを食べる会)

10月・役員会

11月・母校文化祭参加(記念講演会企画)

2年1月・新年名刺交換会(PTA・教職員合同)

2月・清里スキー大会

3月・役員会

3月・母校卒業式 会長他出席(記念品贈呈)

・本年(平成元年度)は、清里寮運営に関して財団法人化をさらに進める。

・同時に会費納入者数を増やすべく、行事への参加呼び掛けを進める。

・名簿の販売に努め、収益を増やす。

・母校の存続問題に関して、同窓会員の一致協力を求め、なお一層の動員力の確保に努める。

・清里寮の財団設立に伴う基金を積極的に募集する。

## 新役員 (任期・平成元年4月～4年3月)

会長	1 M	久保村昭衛
副会長	1 M	渡辺和義
会 計	3 M	竹井博
会 計	3 C	新井英光
会 計	5 F	遠藤靖彦
会 計	10 F	神田一夫
会計監査	3 M	吉沢三郎
常任幹事	7 C	中村真一
常任幹事	3 C	織田知明
常任幹事	4 F	小杉健次
常任幹事	9 F	柏井富士夫
常任幹事	17 M	西村満郎
常任幹事	20 C	石川孝雄
(事務局)		
事務局長	7 M	島田勝利
専任幹事	7 M	田中正二(清里)
専任幹事	7 M	関勇(名簿)
専任幹事	10 M	池田和司(総務)
専任幹事	14 F	小池邦男(統括)
専任幹事	14 C	金谷昶明(名簿)
専任幹事	16 M	松崎幹哉(清里)
専任幹事	17 F	松本代司和(総務)
専任幹事	40 F	関谷生朗
専任幹事	40 F	関郁子
専任幹事	40 C	金子努
専任幹事	40 C	北川昇先生

## 昭和 63 年度決算報告

### 収入の部

会費	1,074,000.-	入会金 3,000円×194人	会費 2,000円×246人
協賛金	212,400.-	名簿販売・広告代	
寄付金	636,200.-	80人	
雑収入	38,260.-	預金利子	
繰越金	430,893.-		
合 計	2,391,753.-		

### 支出の部

印刷・通信費	873,648.-	会報・封筒・振込用紙・郵送料
消耗品費	22,620.-	事務用品他
慶弔費	70,000.-	5件
クラブ活動奨励費	40,000.-	野球部・柔道部・文化祭他
行事助成費	281,930.-	P T A 見学会・忘年会・名刺交換会
維持分担金	1,000,000.-	清里寮運営委員会
合 計	2,288,198.-	

次年度繰越金 103,555.-

監査の結果、適正であると認めます。

平成元年 5 月 30 日

会計監査 内 野 保 ㊟

会計監査 滝 沢 栄 次 ㊟

## 平成元年度予算

### 収入の部

会費	1,391,000.-	入会金 3,000円×197人, 会費 2,000円×400人
協賛金	380,000.-	名簿販売 3,800円×100冊
寄付金	500,000.-	
雑収入	26,000.-	預金利子他
繰越金	103,555.-	
合 計	2,400,625.-	

### 支出の部

印刷・通信費	800,000.-	会報・封筒・振込用紙・総会資料及び郵送料
消耗品費	20,000.-	事務用品
慶弔費	80,000.-	会員及び関係団体
クラブ活動奨励費	50,000.-	在校生のクラブ活動補助
行事助成費	200,000.-	P T A 見学会・名刺交換会
維持分担金	1,000,000.-	清里寮運営委員会→清陵会
予備費	250,625.-	
合 計	2,400,625.-	

# 中野工業高校の夢

## 実現にぜひご協力を!

中工教師 庶務部 北川 昇



草開先生の後を引き継いで早二年の歳月が過ぎようとしております。どうかここまで仕事ができ

たのも同窓会の皆様方をはじめ多数の方々のご助力の賜と深く感謝しております。

さて、今回紙面を通して会員の皆様方にお知らせしたいのは、本校の将来について考えていただいたことがあるからです。と申しますのは、今後数年の間に急激な幼年人口の減少が予測され、そのため本校の存続がはつきりしないという点なのです。このままですと、地域の生涯学習センターになってしまふ可能性もある、ということなのです。そのため、今後学校組織の改編をも考えていかななくてはならず、その時には中工存続の夢がかなうよう会員皆様方のご助力をぜひとも

お願いいたします。

## 同窓会名簿作成

### の思い出

中工教師OB 中川 栄吉



このたび、平成元年三月で定年退職し、現在、都立本所工業高校の嘱託として勤務しています。中野

工業高校で三十四年間、大過なく務めさせていただきましたことは、在職中の教職員、PTA、同窓会の皆様のご厚情の賜と深く感謝しております。

省みますと、昭和五十三年発行の同窓会名簿作成で、準備から発行までの約五年間、同窓会会員の氏名、住所の確認、訂正など、当時の作成委員と、学校で夜



遅くまで話し合ったことなどが懐かしく思い出され、特に印象に残っています。今日の同窓会発展、活動の原動力は、会長をはじめ、幹事、役員の皆様の奉仕、情熱に負うところ大ですが、なによりも同窓会々員の皆様の母校に対する愛情と協力が基本であると信じます。これからの同窓会の発展と、清里寮の維持、発展を心よりお祈り申し上げます。



祈母校発展  
東京都立中野工業高等学校 同窓会  
03-3703-7515  
同窓会オリジナルテレホンカード  
1枚800円

# アルバム

新春名刺交換会・平成元年1月21日↓  
校長先生はじめ先生方、PTAの役員  
の皆様も参加。(於・サテライトホテル)  
平成2年1月にも企画予定。



↑清里寮見学会  
時・昭和63年6月12日  
校長先生やPTAの皆様を招待。  
帰路、勝沼ワイナリーにて。



↑中川先生・鎌田先生の表彰式  
代議員総会(平成元年6月4日)

にて、同窓会活動及び清里寮の運営にお力添え  
いただいた先生に感謝状と記念品を贈呈。

(左)機械科中川栄吉先生・現都立本所工業高校  
嘱託, (中)定時制教頭鎌田敏雄先生・現都立小  
石川工業高校教頭



↑清陵祭(清里寮再開記念祭)

時・平成元年4月15~16日  
感謝と安全を祈願する同窓会長と運営  
委員の皆様。

←●第四期食品化学科クラス会

時・昭和59年3月(担任 厚沢先生)  
昭和28年に卒業して以来、初めて会う  
人もいました。35名中死亡1名、住所  
不明4名。次回は、今年か来年を予定。



↑●第三期食品化学科クラス会  
時・平成元年1月21日  
新春名刺交換会の席を利用して開催。

# 清里寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里念場原

3545-1

電話 0551-48-2603 (FAX 共通)

交通 JR小海線「清里駅」下車、徒歩30分、  
タクシー7分。中央自動車道・須玉インター  
より国道141号を北上。



清里寮の屋根から見た八ヶ岳



バス停そばの看板

## 清里寮利用料 (1泊2食)

大人 (大学生以上)	1泊2食	4,000円
中・高校生	〃	3,500円
小学生	〃	2,600円
幼児	食事なし	無料
冬季暖房費 (11月～3月)	一人	200円

(平成元年4月改定)



新聞にも清里の話題

## 申込・利用方法

- ①清陵会連絡事務所 (14F小池邦男宅) に、利用月日、人数を連絡し、OKを取る。
- ②清陵会連絡事務所から、申込受付書、申込金振込書、パンフレット、料金表が送られてきたら、一人当たり1,000円の申込金を振り込む。(キャンセルした場合は、この申込金がキャンセル料になります。)
- ③清里寮に着いたら、申込受付書、申込金振込控を寮管理人の沖田さんに提示する。
- ④チェックアウトの際、申込金を差引き、残額を支払う。宿泊利用者カード (宿帳) に住所・氏名を書き込む。

※清陵会連絡事務所 (14F小池邦男宅)

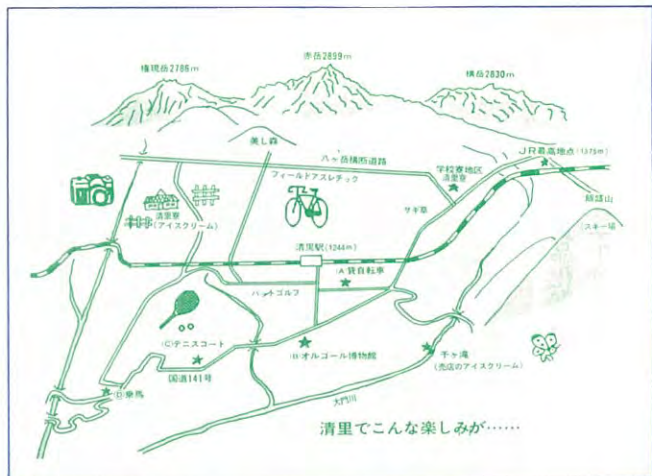
〒177 東京都練馬区高野台2-7-21-205 ☎03-904-7261

または、同窓会連絡事務所 (7M島田勝利宅) でも、申込受付をしています。

〒176 東京都練馬区豊玉南2-8-1 ☎03-991-0885 (FAX 共通)

## 清里・四季の楽しみ

- 4月・開寮祭
  - 5～6月・つつじ狩り、山菜取り
  - 7～8月
    - ・ハイキング、アイスクリーム、サギ草
  - 9月・紅葉狩り、コスモスまつり
  - 10～11月
    - ・手作りほうとう鍋の料理教室
  - 12月・もちつき大会
  - 1～3月
    - ・野辺山スキー場 (人工雪) でのスキー教室
    - ・マイナス20度を体験する会
- ※行事に参加希望される方は、清陵会連絡事務所 (14F小池宅) までお問い合わせください。



清里でこんな楽しみが……



## 昭和63年度清里寮運営会計決算報告

## 収入の部

利用料金	1,578,000.-	{ 一般 267人×3,800円=1,014,600 } { 会 員 132人×3,500円= 462,000 } 計438人 { 在校生他 39人×2,600円= 101,400 } 工事代金等の現物寄付を含む 同窓会・会計より
寄付金	879,000.-	
維持分担金	1,000,000.-	
雑収入	3,261.-	
繰越金	82,304.-	
合 計	<u>3,542,565.-</u>	

## 支出の部

水道・電気料金	228,626.-	
燃料費（灯油・プロパン等）	298,600.-	
食料品費	458,925.-	
クリーニング代（シーツ他）	82,650.-	
浄化槽（汲み取り料）	32,000.-	年 3 回
通信費（TEL, FAX, 振込料）	47,625.-	
給料（管理人他）	1,087,500.-	毎月 8 万 + 利用者割増料
借地料（山梨県）	491,001.-	
固定資産税（建物）	7,100.-	
管理費（火災保険）	33,260.-	
会費（地区協議会）	55,000.-	
備品購入費	192,100.-	食器棚・石油ストーブ他
修繕費	425,000.-	凍結防止工事他
合 計	<u>3,440,087.-</u>	

次年度繰越額 102,478.-

この他に財団設立基金積立額	昭和62年度	613,000.-
	昭和63年度	246,000.-
	累 計	<u>859,000.-</u>

※さらに別記の通り、平成元年度より3年計画で約2,000万円の基金計画を立てています。

## 同窓会年会費2,000円の払い込みを！

今回の会報で詳しく報告してありますように、同窓生のみなさんのご協力がないと、同窓会活動は円滑に行きません。同窓会年会費2,000円と財団設立基金へのご寄付をお願いします。

## 財団設立基金へのご寄付を！

## 平成元年度清里寮運営会計予算

## 収入の部

利用料金	1,896,000.-	$\left. \begin{array}{l} \text{一般 } 400人 \times 4,000円 = 1,600,000 \\ \text{中高生 } 40人 \times 3,500円 = 140,000 \\ \text{子ども } 60人 \times 2,600円 = 156,000 \end{array} \right\} \text{計 } 500人$
寄付金	700,000.-	
維持分担金	1,000,000.-	
雑収入	150,000.-	同窓会・会計より
繰越金	102,478.-	基金積立利子他
合計	3,848,478.-	

## 支出の部

水道・電気料金	260,988.-	
燃料費（灯油・プロパン等）	340,867.-	
食料品費	523,886.-	
クリーニング代（シーツ他）	94,349.-	
浄化槽（汲み取り料）	36,529.-	
通信費（TEL, FAX 振込料）	54,366.-	
給料（管理人他）	1,104,000.-	毎月 8 万 + 利用者割増料
借地料（山梨県）	491,001.-	
固定資産税（建物）	7,100.-	
管理費（火災保険）	33,260.-	
会費（地区協議会）	45,000.-	
備品購入費	100,000.-	
修繕費	200,000.-	網戸・洗面所外壁工事他
町営水道設備費	400,000.-	大滝ダム完成で町営化
予備費	157,132.-	
合計	3,848,478.-	

財団設立基金積立額	平成元年度	6,000,000.-
	昭和62, 63年度	859,000.-
	累計	6,859,000.-

※基金を運用し、その利子分等を会計収入に組み入れ、同窓会の維持分担金を少しでも軽減したいと考えています。

※3年後の目標累計額2,000万円を運用して、年間100万円を捻出し、維持分担金を無くす方向にもっていきたい。

## 【基金の募集計画について】

Aランク	50万円/年 × 3年 = 150万円	1人 → 150万円	合計 $187人 + \alpha$ $= 2,000万円$
Bランク	30万円/年 × 3年 = 90万円	1人 → 90万円	
Cランク	20万円/年 × 3年 = 60万円	5人 → 300万円	
Dランク	10万円/年 × 3年 = 30万円	10人 → 300万円	
Eランク	5万円/年 × 3年 = 15万円	20人 → 300万円	
Fランク	2万円/年 × 3年 = 6万円	50人 → 300万円	
Gランク	1万円/年 × 3年 = 3万円	100人 → 300万円	
Hその他	一般基金, 企業OB会等	$\alpha$ → 260万円	

★財団法人名は、代議員会に於いて「清陵会」が承認されました。